

ひったくり

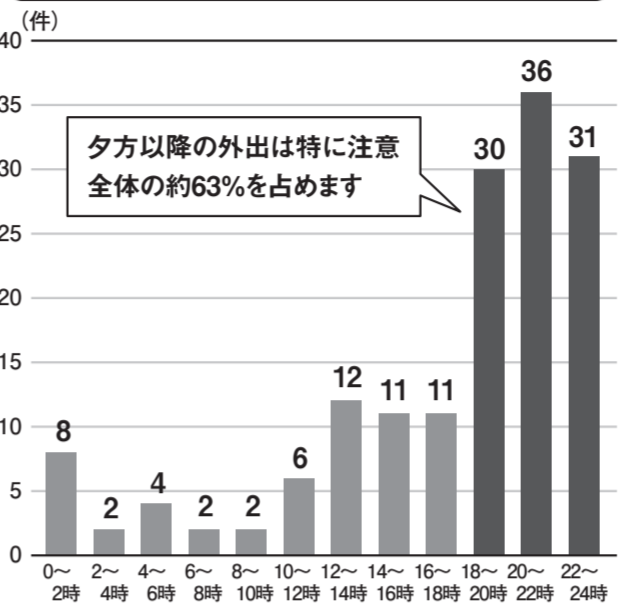
平成22年に千葉県は「ひったくり」被害件数が2,188件と全国ワースト1になりましたが、本市を含めた県全体の取り組みの結果、昨年は1,097件と半数以下となりました。本市では988件から155件に減らすことができた。

「ひったくり」は金品が奪われるだけでなく、転倒して大けがを負うこともありま。外出時には左記のことを心がけるなど、十分に気を付けてください。



- 歩行時**
- バッグはタスキ掛けを心がける
 - 荷物は車道と反対側に持つ
 - 金融機関やATMで現金を引き出した後
 - 携帯電話の使用(周囲への注意力が散漫になる)
 - イヤホンの使用(周囲の音が聞こえにくくなる)
- 特に注意が必要**
- 自転車運転時**
- 前かごに荷物を入れる際にはカバーやネットをする
 - (転倒の危険があるので)バッグなどの紐をハンドルにくっつかない

平成23年 市内ひったくり時間別発生件数



振り込め詐欺



県内では今年1月から3月までの振り込め詐欺が184件発生し、その被害額は3億4,700万円に上り、依然被害が増えています。そのうち市内では、16件発生し、被害額は4,600万円でした。

自分は大丈夫と思っていませんか。相手は詐欺のプロです。振り込め詐欺の電話が実際にあると、冷静な判断は難しくなります。少しでもおかしいと思ったら、迷わず左記の相談窓口にご相談ください。

最近の傾向

- 被害者に振り込ませず、被害者宅に現金やキャッシュカードを取りに来る手口が増えています。
- 事前に「携帯電話の番号が変わった」とあらかじめ電話を掛け、多くの場合、その翌日にお金が必要になると連絡してくる。
- 警察官や銀行員などを名乗り、キャッシュカードの暗証番号を聞き出し、カードもだまし取る(警察官や銀行員が暗証番号を聞くことは絶対にありません)

対応策

- 家族にしか分からないことを合言葉に決めておく
- 在宅中も留守番電話に設定し、心当たりのない電話番号の時は出ない
- 身内を名乗ってメッセージが来た場合でも、直ぐに電話に出ず、おかしいと思ったら110番通報などを行う

相談窓口

- 千葉県警察 振り込め詐欺相談専用ダイヤル ☎0120-4945006
- 受付日時 月～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時15分
- 消費生活相談窓口 ☎334-0909
- 消費生活センター 月～金曜日 電話と面接による相談
- 行徳支所市民相談室 ☎334-1121
- 受付日時等 第2・4火曜日 電話と面接による相談 午前10時～正午・午後1時～4時

「自分は大丈夫」 その油断が被害につながります

防犯活動募集

- 自主防犯活動** 防犯意識の高い地域と思わせることは、犯罪の抑止に効果があります。自主防犯活動は、自治会などが主体となり、仲間と一緒に地域を見回る取り組みです。市では、5人以上で構成される団体が月1回以上、自主的に行う防犯活動に対し、帽子・腕章などの防犯物品を支援しています。
- いちかわボランティアパトロール** 地域の安全・安心に気軽に取り組みたい方は、いちかわボランティアパトロールに参加してみませんか。散歩や買い物などの時に、オレンジの専用帽子を被ってパトロールする姿を見せることで、犯罪を抑止することを目的としています。

移動交番活躍中

事件や事故の発生が多い地域や、交番が遠い地域などを専用の車で巡回する移動交番。市川警察署と行徳警察署に配備され、防犯パトロールや防犯指導、地域からの相談に応じるなど、犯罪抑止に大きな成果を發揮しています。

開設場所

- 市川警察署 ニッケコルトンプラザ 北総線北国分駅前 須和田警察官連絡所 宮久保保育園前 大町会館 二俣国設宿舎自治会館前 三戸前橋東側駐車場 ※三戸前橋の東方約50mの駐車場
- 行徳警察署 徳願寺 広尾防災公園 南沖児童交通公園 塩浜市民体育館

※上記開設場所を巡回しています。日時と場所はお問い合わせください。



市民からの相談に応える移動交番の警察官

問い合わせ先 市川警察署地域課 ☎370-0110 行徳警察署地域課 ☎397-0110

車上ねらり



積荷や車内から現金や物品を盗む車上ねらい。窓ガラスを割られる、鍵穴が破損するなど、車に損害が加えられるケースも発生しています。施錠しているから安心と思えてはいけません。県内の被害の7割以上は施錠をしていました。犯罪者にスキを見せないようにしましょう。

車から短時間離れる場合も施錠する 防犯の基本は、まずはしっかりと施錠することです。

車内に貴重品を置かない たとえ貴重品が入っていないとしても、バッグなどを外から見える場所に置かないようにしましょう。

周囲に人目のある場所に駐車する ただし、人ごみに紛れての犯行も十分に考えられます。

環境にやさしい LED型防犯灯に注目



LED型防犯灯

現在、市内には約25,000灯の防犯灯が設置され、自治会で維持管理をしています。市では、ランプ寿命が長く、消費電力量などを削減できるLED型防犯灯の設置に対しても、平成23年度から新たに、補助金を自治会に出し、これまで約650灯が設置されました。本年度もLED型防犯灯設置にに対し、約600灯の補助を予定しています。

(地域振興課)

防犯協会 活動中

防犯知識の普及などに取り組み防犯協会。市内では市川防犯協会と行徳防犯協会が活動しています。市川防犯協会では、銀行の店舗内外での振り込め詐欺防止の啓発など、各種防犯活動を実施しています。また、行徳防犯協会では、浦安市防犯協会との合同防犯パトロールを毎年12月に実施しています。



行徳防犯協会と浦安市防犯協会の合同パトロール

連携が大きな力に



茶野会長

防犯パトロールを積極的に行っている福栄丁自治会の茶野七郎会長、歌代表素元会長にお話を伺いました。

いつから防犯パトロールを行っていますか

曜日やルールを決めて活動し始めたのは平成15年からです。それまではルールなどは決めず、時々行う程度でした。今は週2回行い、その内の1回は移動交番のお巡りさんにも一緒にパトロールしてもらっています。

始めたきっかけは

全国的に空き巣やひったくりなどの犯罪が増えたことがきっかけです。今ではいつも時間になると自主的に集合場所が集まり、10人ほどで行っています。

活動の効果やみなさんの反応などはどうですか

移動交番のお巡りさんも言っていますが、空き巣やひったくりなどの犯罪件数が減っています。地域の方からも「犯罪件数が減って良かった」「これからは続けて欲しい」との声をよく聞きます。

最後に、地域の防犯力を高めるのに必要なことは

活動を自分たちの地区だけに限定せず、隣の地区と緒に実施することですね。他の地区との協力が、強い防犯力を生み出すと思います。私たちは毎年12月に浦安市の自治会と一緒に防犯パトロールをしています。

LEDで地域を明るく

設置のきっかけは

昨年度、高齢者の女性を狙ったひったくりが同じ場所ですら2件発生しました。その場所には水銀の防犯灯がありました。以前から暗いと感じていました。そこで、市から補助金も出るということで、LED型に切り替えてみようと思っただけです。

その効果やみなさんの反応はいかがでしたか

道路が明るくなったと好評で、他にも付けてほしいと要望が来ます。また、以前は防犯灯の光が室内に入ると睡眠の妨げになることもあったようですが、光が分散しないLEDはそういうことがないという声も届いています。市からの補助もよかったですね。

防犯への関心はどのくらい高いと思いますが、地域の防犯力を高めるのに必要なことは

犯罪に関する情報や知識を共有することがとても大切です。いつ被害にあうかわかりません。私たちは地域で起こった犯罪の発生状況や防犯対策などの情報を、役員会や防犯パトロールを通じて、地域のみなさんに伝えるようにしています。それと、住民同士が挨拶をし合うことで地域のつながりが生まれ、それが犯罪の抑止につながると思います。



茶野会長